

平成22年8月24日定例経営会議（要約）

（平成22年8月24日 午前9時30分～12時00分）

新たな創造 変化に対応

I 開会 ～ 市長あいさつ

- ・ 早いもので8月も24日、来週から9月定例会を迎える。定例会前の最後の経営会議である。前回以降の動きを報告する。
- ・ 8月11日、都市環境部交通課の主催で「公共交通を考える会」が立ち上がった。今後のコミュニティバス等の公共交通をどう考えるか、と設置をお願いしたものである。公募市民、交通ジャーナリスト等の専門家、国交省の職員や警察にも入っていただき、今後の公共交通を考えていただく。コミュニティバスは、現在3路線運行しているが、一般財源ベースで5千万円を超える事業となっている。各町で非常に要望が強いが、全てを満足させるのは難しい。今後どのように効率的に運行していくか、乗り合いタクシー等も含めて検討していただきたいと思っている。
- ・ 8月21日（土）にタウンミーティングを行った。市民部、経営政策部にはお世話になった。今回は、市内の公立中学校・高校等を対象に呼びかけさせていただいた。学校によって温度差があるせいか、参加者は9名であった。3中の生徒会役員と、都立西校の生徒会役員、また中学生の生徒を連れての参加があった。もちろん大人の方々の参加者もあった。今後、中高生の声を市政にどのように反映させるか、工夫が必要であろうと感じた。

中高生から出た意見としては…

- ・ 産業まつりに10代も参加できるようなことを考えてほしい。
- ・ サイクリングロードのごみ・雑草を何とかしてほしい。
- ・ ボール遊びができる公園がほしい。（中学生）
- ・ グリーンバスを学校の側に通してほしい。（西校生徒）——高校生からもこういう声があった。
- ・ （高校では全校生分のチラシを配らなかったの、）生徒全員に周知できるように、チラシがほしかった。
- ・ 八国山を多くの人が散策できるように、イベントや企画を考えたらどうか。——東村山の自然を誇りに思い、愛着持っているようだ、
- ・ 家の周りの畑が減少して住宅地になっている。なんとかならないか。
- ・ 府中街道がいつも渋滞している。解消に努めてほしい。
- ・ 江戸街道の九道の辻から国分寺線の踏切まで歩道をつけてほしい。——中高生も、生活に即した意見を持っていると感じた。

大人から出た意見としては…

- ・スポーツセンターの駐車場を有料化すべき。——先日の行革推進本部の会議で事業点検部会からも出たような提案が出された。
- ・スポーツセンターのランニング走路の工事はいつまでかかるのか、体育協会の職員に聞いても「わからない」との答えであった。館で休止しておいて、自分が管理する工事の工期がわからないとは、どういうことか。
- ・学校図書を整備が各校によって格差があるのではないか。
- ・専科の教室に扇風機がついていない。
- ・屋内プールは、大人の付き添いがなければ子どもが泳げないようになっている。緩和できないか。
- ・第1中学校の女子バスケットボールチームが都大会・関東大会で優勝し、全国大会に出場したことで、横断幕を張っている。それ以外でも中体連の全国大会に出ている人もいる。そういう人にもきちんと光を当てPRしてほしい。
- ・発達障害の早期発見を。
- ・総じて、中高生に出席してもらったことで、彼等がどのようなところで東村山の魅力を感じているのかがわかった。タウンミーティングに来る中高生は比較的、東村山のまちづくり等に何らかのかたちで関わりたいという意欲を持っていることもわかった。このような中高生を市政としてどのようにうまく受け止めていくか。地域に愛着を持って10代のうちからまちづくりに参加し、地域の中でさまざまな活躍するのはまち全体にとっても良いことであるし、ふるさと意識を創出する土台にもなるだろう。今後、各所管でこのようなことも念頭に置きながら、市役所がどのように中高生と接点を持つか考えていただければありがたい。
- ・昨日、決算について初めて記者会見を開いた。これまで予算については毎年2月上旬頃にプレス発表してきたが、決算については一度もしていなかった。他市でもやっているという話はあまり聞いたことがない。しかし考えてみれば、民間企業は予算でなく決算概要を必ずプレス発表して企業業績を報じる。市役所は基本的に「翌年こういう事業を行う」ということを知らせてきたが、その結果として決算状況がどうなったかを——財政が逼迫している状況であるからこそ——示していくことも今後は求められるであろう。決算重視という姿勢を少し明確化したいという思いもあり、今回、決算のプレス発表をした。
- ・いよいよ9月定例会である。平成21年度決算、最終日には第4次総合計画の基本構想の審議と、かなり重要な議会と考えている。代表質問、一般質問の通告は昨日受け取った。第4次総合計画の基本構想を提案する議会であるので、しっかり中長期的な視点を持ちながら行政運営・財政運営をしており、5年くらいのスパンでこのような考え方を持ちながらやっているのだということが伝わるような答弁をお願いしたい。また、各所管でも中期的視点・ビジョンを持っていることを伝えられるよう答弁をお願いする。

II 協議事項

(1) 平成23年度及び24年度の職員体制について

- ・前回から継続して協議する。

III 報告事項

(1) 会議の公開指針の改正案について（再報告）

- ・前回、会議の公開に係るホームページ上の掲載期間について、原則3年と決めつつあったが、「3年」という根拠が不明瞭であったため、文書の保存年限と同一と決した。しかし、文書の中には永年保存のものもあり、ファイルサーバーの容量等、物理的な問題が生じることから、元案の「原則3年」と修正し決定する。

(2) 平成22年度第2回接遇アンケートの結果について

- ・第2回目を実施した。全庁的な協力に感謝する。
- ・今回は、前回の調査と比較し、母数がやや減ったが、全体的な結果は前回と変化がなく、概ね80%以上の方は「満足」「普通」「良い」「やや良い」で、この数字的な傾向は変わらなかった。
- ・意見としていただいた、「説明が足りなかった」等については、所管に回付して対応する。
- ・良かった例として、「非常に親しみやすい職員で良かった」、「親切に対応していただいた」等、各所管で見られた。
- ・悪い例として、「暑いので天井に大型扇風機を」は、物理的な問題、「中の職員が扇風機に当たっているのが見える」は、工夫の余地がある。「年金天引き制度に腹が立つ」は、制度上の問題であり市では如何ともし難い。
- ・特に、東村山駅西口地域サービス窓口は好評であった。「市役所が終わっても書類が取れるのでたいへん助かる」「駅の近くにできてたいへん便利」は複数あった。「とても親切である」「市役所は堅苦しいが、この職員は明るい」「仕事帰りに利用できて便利」等の意見で、概ね好評な意見をいただいている。「期日前投票もここで行ってほしい」という意見もあった。
- ・また、「こんなものを書かせたら自然と態度が良くならざるを得ない」との意見もあった。この調査を機に習慣化することで信頼性のある対応を本物にしていきたい。「心からの親

切心を感じることができた。仕事上、ポーズ上の親切心はわかるものであるから。」との意見をいただいたが、これが最終的な目標値であろうと考えている。

(3) 地域戦略大綱に基づく基礎自治体への権限委譲について

- ・東京都経由で内閣府地域主権戦略室より、市町村に権限委譲に伴う具体的な対応策について調査をする旨が届いた。8月30日4時までに回答を東京都に送付する。
- ・調査照会文書によると、今回の調査対象業務は、健康福祉部と子ども家庭部の内容であるが、今後、建設、教育、産業等の様々な分野での調査が予定されている。
- ・調査項目として、事業種別に、①条例による事務処理特例制度の有無（権限委譲を受けるための例規・制度が市にあるか）②対象業務を国都から区市町村に移譲し事務処理を行う場合、どのような対応策・支援策が必要か が問われている。
- ・所管部は、8月28日（金）までに回答案を作成し企画政策課へ送付する。また、30日（月）8時30分から、理事者と所管部長で協議した上で、都への回答を送付する。

(4) その他

- ・国勢調査が9月1日から各家庭に配付される。指導員、職員118名に協力いただくので、よろしく願います。
- ・国の人勧が出た。月例級0.19引き下げ、ボーナス0.2引き下げ、定年延長が入ったものが出ている。当市は東京都人勧に準拠する。
- ・新規採用職員の募集状況は、まだ確定ではないが547名の応募がある。去年は156名であったので、今回は相当多い。
- ・29日の総合震災訓練は、8時30分にマルチメディアホール集合、40分頃に本部訓練をした後、車で移動する。各部の役割等は明日渡すので、よろしく願います。
- ・第1中学校の女子バスケットボール部の横断幕については協力感謝する。市民センターに張った。昨日、全国大会での試合があり、リーグ戦でトップ通過し、決勝のベスト16に残り、本日試合する。ここからトーナメントになる。

IV 閉会 ～ 副市長

以上